

様式第1号（第2条関係）

受付番号	抽選番号

村 営 住 宅 入 居 申 込 書

五木村長 様 平成 年 月 日

1 申 込 者

現住所 市 郡 町 村 番地

氏 名 印 年 月 日 生

2 入居申込者世帯員明細（別居中の扶養親族を含む。）

氏 名	生年月日	続柄	同居・別居の別	扶養・非扶養の別	職 業	勤 務 先
		本人				

3 所得状況（※印欄は記入しない。）

所得者 氏 名	所得の 種 類	前 年 の 総 収 入 額 A	公営住宅施行令第1条第3号 に規定する控除額		月 平 均 収 入 額 $\frac{A-B}{12}$ C
			老人・障害者・老年 者・寡婦の別	※ 金 額 B	
		円	円	円	
計					円

※所得額の合計	※公営住宅施行令第1条第3号 に規定する控除額	※ 月収入額	※ 収入基準額
円	円	円	円

上記の申込者は、当社（所課）に勤務している者であり、当該者に係る記載事項は事実と相違ありません。

平成 年 月 日

所在地 電話（ ） -

名 称 代表者氏名 印

4 住宅に困っている事情 左欄は該当番号を○で囲み、右欄は該当文字を○で囲み、理由を具体的に記入してください。

(1) 住宅以外の建物又は場所に居住している。	転用住宅（倉庫、物置、その他）に住んでいる。
(2) 危険又は有害な状態にある住宅に居住している。	年ぐらい経過した老朽建物で危険である。 (その他)
(3) 同居又は間借りしているが、生活上著しく不便をうけている。	世帯人と同居室を間借り 炊事場=共同・共同でない 便所=共同・共同でない
(4) 住宅がないため、家族と別居している。	理由：
(5) 立退きの要求を受け、立退き先がない。	理由：
(6) 勤務先から著しく遠隔の地に居住している。	通勤に要する時間が片道 時間 分
(7) 現在不当な家賃のため、生活困難である。	毎月の家賃額 円 収入との割合
(8) 世帯構成の関係から衛生上又は風致上不適当な住宅に居住している。	理由：
(9) 現在居住している住宅の畳数が1人あたり3枚以下である。	畳 畳 畳の 室 (板間は畳数におおしてください。)
(10) その他	

記 載 上 の 注 意

- 1 入居申込書に虚偽の記載があったときは、理由のいかんにかかわらず失格となりますので、正しく記入してください。
- 2 「3 所得者状況」は、次の方法により記載してください。
 - (1) 給与所得者の場合
「年間総収入額」欄には、前年の所得税法にいう所得総額を記入してください。
 - (2) 事業所得者の場合
年間所得額を「年間総収入額」欄に記入してください。
- 3 住宅の入居申し込み収入基準について
公営住宅は、月収入額が公営住宅法施行令（昭和26年政令第240号。以下「令」という。）第9条に規定する基準の収入であること。
- 4 その他（添付書類等）
 - (1) 給与所得者は「前年の源泉徴収票（写）」（代表者の証明印があること。）を添付してください。
 - (2) その他の所得者は、市町村発行の「住民税課税台帳記載事項証明書」を添付してください。
 - (3) 申請書の家族構成について証明できる住民票謄本、健康保険証などを持参してください。ただし、障害者については証明できる書類の写しを、また寡婦については、市町村長発行の証明書を添付してください。

申込者の現住所の略図

目印になる建物等を記載し、できるだけ詳細に記入してください。